

主な桜の種類



エドヒガン

東北から九州に分布。花は白色から紅色。開花時に葉芽が開かないのが特徴で、ウバザクラとも呼ばれる。



ヤエザクラ

花が八重咲きになる品種の総称。ほとんど栽培品種で花色はさまざま。ソメイヨシノより開花の遅いものが多い。



カンザクラ

花は薄い淡紅色の中輪一重。秋から咲き続けるものもある。ヒカンザクラとヤマザクラの雑種の栽培品種。



シダレザクラ

平安時代から栽培されているエドヒガンの栽培品種で、神社などに老木が多い。枝は下向きに垂れる。



ヤマザクラ

東北南部から九州に分布する、白い花と赤い若葉をつける野生種。江戸時代までは桜の代表でもあった。



オオシマザクラ

関東南部の伊豆諸島、伊豆半島、房総半島、三浦半島に分布している。花は白色で花びらは大きい。芳香がある。



ヒカンザクラ

花弁はあまり開かず花は濃赤色。別名、カンヒザクラ。沖縄では花見の対象となっており、単に「サクラ」と呼ぶ。



エゾヤマザクラ

北海道、本州、四国に分布する野生種。花は淡紅色でオオヤマザクラとも呼ばれる。北海道では花見の対象に。



ソメイヨシノ

花は一重咲き。咲き始めは淡紅色で、満開になると白色に近くなる。エドヒガンとオオシマザクラの種間雑種の栽培品種。写真は青森県の弘前公園。日本最古のソメイヨシノや、日本最大幹周のソメイヨシノなどが見られる。

あり、標本木と呼ばれています。基本はソメイヨシノですが、北海道の一部ではエゾヤマザクラ、沖縄県ではヒカンザクラが代替木として観測されます。標本木の多くは、各気象台の敷

ソメイヨシノは江戸時代から愛され続けてきた。古くから、春の訪れを私たちに告げてくれる桜。日本には桜をめでる文化があり、平安時代の宮廷に始まり一般化してきたとされています。庶民の間では、桜の開花に合わせて祭りを行ったり、農作業の目安にもしていたようです。桜というと、すぐに思い浮かぶのはソメイヨシノ。日本の桜の代名詞ともいえます。ソメイヨシノは江戸時代の終わりに、江戸の染井村で売り出された栽培品種。生長が速く、たくさんのお花を咲かせることから人気となり、明治時代以降、全国の学校や公園などに植えられて広まってきました。そして現在では、最もなじみ深い、桜の代表となったのです。

地内にあるため、一般の人が見る機会はありませんが、街の公園や神社にある桜を標本木としているところが二十数カ所あります。18〜19ページでそのうちのいくつかをご紹介します。

ソメイヨシノは、「接ぎ木」という技術で増やされてきました。これは、幹を根元で切った台木に、増やしたい親木から切った芽のついた枝をつなぐなどして、親木と同じ性質を持つ木を育てる技術です。こうすると、気温などの条件が整えば、どのソメイヨシノも同じように花を咲かせます。

さまざまな種類があり栽培品種は100種以上

桜には100以上の種類があり、ヤエザクラやシダレザクラなども有名です。その特徴や栽培地域などの名前がつけられ、親しまれている桜も多くあります。

また、天気予報などでよく耳にするのが、気象庁発表の「開花宣言」。この目安になっている桜の木が全国58カ所の気象観測点付近に

桜

特集2

日本を代表する花の一つ、「桜」。最も親しまれているソメイヨシノの他にも多くの種類があり、その特徴も異なります。

取材・文／Office彩蔵
イラスト／中山ゆかり



高知城 高知公園

〔高知・高知市〕

四季の彩りあふれる名城。ソメイヨシノをはじめヤマザクラなど数々の桜が見られ、花見客でにぎわう。標本木は三ノ丸の広場内にある。



しゅっけいえん 縮景園

〔広島・広島市〕

幾多の景勝を集め、縮めて表現していることで縮景園という名称に。四季折々の表情を見せる回遊式庭園。標本木は「泉水亭」横にある。



道後公園 (湯築城跡)

〔愛媛・松山市〕

道後温泉で有名な愛媛県松山市道後地区にある県立都市公園。桜の名所で多くの人が訪れる。標本木は「いこいの広場」付近にある。



くまがやさくらつつみ 熊谷桜堤

〔埼玉・熊谷市〕

江戸時代から桜の名所として知られ、約500本のソメイヨシノが2kmにおよぶ桜のトンネルをつくる。標本木は熊谷市民体育館付近にある。

やすくに 靖国神社

〔東京・千代田区〕

靖国神社の桜は明治3年ごろに植えられたのが始まりといわれており、境内には約500本の桜がある。標本木は能楽堂の脇にある。



きみいでら 紀三井寺

〔和歌山・和歌山市〕

西国三十三所第2番札所の観音霊場。春の到来を告げる早咲き桜の名所として有名。境内には約500本の桜があり、標本木は本堂前にある。



写真提供／(一社)和歌山市観光協会

きゅうしょう 鳥取城跡・久松公園

〔鳥取・鳥取市〕

鳥取城跡を中心に、仁風閣や県立博物館など見どころの多い公園。400本を超えるさまざまな桜が咲き、標本木は公園入口付近にある。



大阪城 西の丸庭園

〔大阪・大阪市〕

大阪城天守閣の西にある約6.5haの西の丸庭園。ソメイヨシノを中心に約300本の桜が。標本木は庭園入口から約30m直進した右手側に。



宮崎県 総合文化公園

〔宮崎・宮崎市〕

2つの広場と3つの文化施設がある緑豊かな公園。多くの種類の桜が見られ、桜のライトアップも好評。標本木は県立美術館西側にある。



・あんぱん(桜)・

ヤエザクラの塩漬けと北海道産小豆を使用。明治天皇に献上したことが、あんぱんを世に広めるきっかけに。「酒種あんぱん桜」(木村屋總本店)



・桜もち・

桜の葉で包む桜もち。主に小麦粉の皮であんを包んだ関東風の長命寺(上)と、道明寺粉を蒸したものであんを包んだ関西風の道明寺(下)の2種類がある。



・さくらビール・

長野県伊那市高遠の桜の花と葉を使った、桜もち風味のビール。食用のヤエザクラを使用。「サントガーレン さくら」(サントガーレン)



・桜染め・

桜で染め上げた柔らかな絹のストール。独自のつくり方で中の絹糸が動き、立体的な風合いに。「桜染 絹二重羽衣ストール」(工房夢細工)



花を觀賞するだけでなく、昔からさまざまな用途に利用されてきた桜。現在も染料をはじめ、食品などにも使われています。

桜を使ったいろいろな製品